

学 年	教科等	単元名	日 時
第5学年	総合的な学習の時間 (わかたけ)	わたしと食 佐土原ナス(絆'ス)を育てよう	令和4年6月12日(水)6校時
研究内容1の 手立て	<p>「探究する」おもしろさを実感する単元構成の在り方 本単元は宮崎県の伝統野菜である佐土原ナスを起点に、以下のように小単元を構成している（本小単元は「1」）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 宮崎の伝統野菜である佐土原ナスについて知り、佐土原ナスの育て方について追究する。 2 苦労して育てた野菜が廃棄されている現状から、課題を設定し、保存の仕方やおいしく食べられる調理方法について研究する。 3 食品ロス等の食に関する問題から課題を設定し、食料生産を盛り上げる方法を発信する。 4 これまでの学習を基に、家族で食を大切にする活動に取り組む。 <p>子どもの思いや願いを基に、探究課題を設定し、各教科等での学びのつながりを生かしながら、子どもと一緒に単元を構成することで、「探究する」おもしろさを実感できるようにする。</p>		
研究内容2の 手立て	<p>「考える技法」を効果的に活用した学習活動の在り方 本小単元では、佐土原ナスを栽培するために、栽培方法等についてインターネット等を活用したりインタビューをしたりして調査するなかで、理想とする佐土原ナスと自分たちの育てている絆'スの現状について仲間と話し合わせる。そうすることで、「比較する」「分類する」「関連付ける」といった「考えるための技法」を生かしながら、栽培方法を見直し、実践につなげていくことができるようにする。 本時では、今後の栽培活動において必要なことを明確にするために、インタビューをして分かったことをグループで整理・分析し、自分たちの栽培活動と関連付けながら活動の見通しをもつことができるようにする。</p>		

本時、活用した考え方「比較」「分類」「関連付け」～自分たちの絆'スの現状から～

【課題の確認】

自分たちのめざす「絆'ス」を育てていくために、佐土原ナス研究会の方々にインタビューをしたね。「絆'ス」を育てるために必要なことは何だろう。



インタビューして分かったことがたくさんあったね。どうやったら分かりやすくなるかな？

分かったことをメモした付箋紙がたくさんあるから、画用紙に貼って仲間分けすればいいね。



【チャート等を活用した話し合い】

① インタビューで分かったことを出し合い、似ているものや関係のあるものでまとめる。

土が乾いているときに水をあげることや水をあげる量については、「水」でまとめられるね。



支柱を立てることや雑草を抜くことは「対策」としてまとめたらどうだろう？

② まとめたものから、これからの育て方について考える。



自分たちのグループの「絆'ス」は、写真のように葉が虫に食べられています。だから、まずは「虫対策」をしていくことが大切だということになりました。

ぼくたちは、整理したものをピラミッドチャートにして考えました。そうすると、「虫対策」が一番重要だということが分かりました。「水やり」も重要だということも分かりました。



【グループで整理してまとめたもの】



【授業をふりかえっての考察】

今回は、インタビューで分かったことをグループで画用紙に貼って分類し、今後の育て方について話し合いを行わせた。その際に、自分たちの「絆'ス」の現状と関連付けながら考えさせることで、自分事として捉え、考えようとする姿が見られた。

多くの情報を整理させるためには、情報を取捨選択したり、似ていることから情報を出したり、観点を決めてグループ分けをしたりするなどの整理・分析の仕方についての見通しをもたせる必要があった。

総合的な学習の時間は、1年間を見通して学習を進めていく必要があるため、教育目標や他教科等との関連についても今後検討していきたい。

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

2 本時の目標

絆’ スの栽培方法について、インタビューしたことを整理・分析し、栽培しているナスをこれからどのように育てるかについて考えることができる。

2 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 本時学習問題を確認する。</p> <p>○ 前時の学習の確認</p> <p>○ 学習問題の確認</p> <div>絆’ スを育てるために、必要なことはなんだろう。</div> <div>絆’ スは、糖度が高くて大きいナスである。</div>	<p>○ 前時のインタビューで子どもがメモをした付箋紙を提示することで、たくさんの情報があることに気付かせるとともに、情報を整理・分析する必要性に気付くことができるようにする。</p>
<p>2 本時学習について見通しをもつ</p> <p>○ 話合いの仕方（グループ→全体）</p> <div>① グループでインタビューから分かったことについて出し合い、分かったことを整理・分析する。</div> <div>② 事前に記録した自分たちの絆’ スの様子と関連付けながら、これからの育て方についてまとめる。</div> <div>③ グループごとに必要なことを発表し、自分たちの育て方について見直す。</div>	
<p>3 グループで、インタビューから分かったことや、これから必要なことについて話し合う。</p> <p>○ インタビューから分かったこと</p> <div>・「肥料は、2週間に1回位あげないといけないよ。」</div> <div>・「水はこまめにあげないといけないね。」</div> <div>・「最初の実は、他の成長をじゃましてしまうよ。」 等</div> <p>○ これからの育て方について</p> <div>・「ぼくたちのグループは、水が溜まりやすい場所で育てているから、水の量を調整しないといけないね。」</div> <div>・「わたしたちのグループは、葉に虫が付いているから、まずは薬剤を使って虫をどうにかしないとダメだね。」 等</div>	<p>○ 実際に絆’ スを育てている3人でグループをつくり話し合わせることで、より自分事として絆’ スの栽培に必要なことについて考えることができるようにする。</p> <p>○ 事前に自分たちの絆’ スの様子を観察させ、タブレット型端末に記録させることで、自分たちの絆’ スの現状とインタビューをして分かったことを関連付けて育て方を考えることができるようにする。</p>
<p>4 全体で、それぞれのグループに必要なことについて共有する。</p> <p>○ 仲間との共有による考えの広がりや深まり</p> <div>・「私たちのグループで思っていた一番必要なことと他のグループでは違っていました。それは、植えている場所やナスの育ち方が違うからです。」</div> <div>・「私たちは水の量が一番必要だと思っていたけれど、日の当たり方を調整することも必要だった。」 等</div>	<p>○ これからの育て方についてグループで考えたことを全体で共有させることで、他のグループの考えと比べながら、共通点や相違点に気付かせ、自分たちの育て方について見直すことができるようにする。</p>
<p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <p>○ 本時の学びに対するふりかえり</p> <div>・「付箋紙を仲間分けすることで、絆’ スを育てるために必要なことが分かりやすくなりました。」 等</div> <p>○ 次時の学習の見通し</p>	<p>○ 情報をどのように整理・分析したのかという視点でふりかえらせることで、情報を整理・分析して考えをまとめることのよさに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 本時で学習したことを基に、これからの栽培活動について見通しをもたせることで、より主体的に学習に取り組むことができるようにする。</p>

2 本時の評価規準

絆’ スを栽培するうえで大切なことについて、インタビューから分かったことを整理・分析し、これからの栽培方法について見通しをもっている。
(思考・判断・表現②)【記述分析】